

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	瀬戸内気候型住宅フォーラム			
H30採択グループ番号	07	—	0644	— 0654

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	<p>本会は、中国・四国・九州の瀬戸内海式気候帯に属する地域が、「瀬戸内の気候を生かし、小さなエネルギーで快適に暮らす」を共通の目的として、瀬戸内海式気候に相応しい省エネルギーの在り方とこれからの地方での暮らし方をテーマに、共同で住宅モデルの開発とその技術の共有化を行ってきた。</p> <p>このような経緯の中で平成30年度は、地域材を現して使う普及型住宅モデルの開発と、設立当初から提案する「土の家」の認識と評価を高める活動を行った。</p> <p>前者については、提案するモデルの竣工にあわせて、メンバーを対象に見学会と説明会を開催した。</p> <p>後者については、2018年度第8回サステナブル住宅賞に応募し、大賞／国土交通大臣賞を受賞した。これを受け、メンバーにその仕様に関する説明会を行う他、パンフレットを再編集するなど一般向けの普及活動を進めている。</p>
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/11/24	名称	普及型住宅モデル見学説明会		●	
	内容	中国・四国・九州の各ブロックメンバーが、四国ブロックの香川県に集まり、提案モデルの竣工現場を見学し、その仕様を説明、意見交換を行った。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/06/16	名称	土と木の家 完成見学会		●	
	内容	山口県における本事業を使った竣工住宅の一般向け見学会を現地で開催した。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/02/02	名称	土と木の家仕様研修会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	問合せに対して随時、経験者や事務局がメールや電話で対応している。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	2	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	県単位の各ブロックが対応するものとしている。			
② H30年度における施工構成員の廃業	無			
対応内容				

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有			
内容	本会が開発した技術や新しい情報などをメールなどで配信するほか、必要に応じて技術に関する検討会議を開催している。			
省エネ化に対する取組 ②				
内容				
BELS工務店の登録数	0 社			

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	瀬戸内気候型住宅フォーラム				
H30採択グループ番号	07	—	0644	—	0654

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/09/14	名称	提案住宅モデル説明会		
	内容	本会が商標登録を行った提案住宅モデルの説明会の開催を予定している。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/06/15	名称	土の家見学会		
	内容	一般向け雑誌での本会事例の紹介にあわせて、見学会の開催を予定している。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/06	名称	提案住宅モデル見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	各ブロック事務局又は経験技術者が、問合せに対して随時サポートを行う。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	県単位の各ブロックが対応するものとしている。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	新築住宅の省エネ計算システムなど活用方法について、情報共有と専門家によるサポートを進める予定である。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	新築物件が減少しつつあり、改修は多くのメンバーの業務の中心となりつつある状況のため、改修マニュアルの作成を検討している。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/09/14				
内容	本会がつくる省エネ改修マニュアル作成の検討とあわせて、研修会を開催する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	瀬戸内気候型住宅フォーラム				
H30採択グループ番号	07	—	0644	—	0654

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>工壁と地域の木材がもつ調湿性や蓄熱性を生かした住宅で「瀬戸内の温暖な気候に適した、小さなエネルギーで暮らし快適な家」が本会がつくる住宅の特長である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小さなエネルギーで暮らせる家                     <ul style="list-style-type: none"> <li>通風と日照を大切に考える</li> <li>土と木の性能を生かし、室内の温度と湿度を和らげる</li> </ul> </li> <li>木を現す構法の美しさと合理性を活かした家                     <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の住まいの美しさを表現する</li> <li>構造を現すことで生まれる利点を生かす</li> </ul> </li> <li>世代を超えて住み継ぐ家                     <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な暮らしができる可変性ある計画とする</li> </ul> </li> </ol>	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有		
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有		
造作材	枠材、廻縁等	有		
板材	壁板、床板等	有		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	製材など生産者と、設計・施工が共有する部位別木材リスト情報による木材流通システムで運用している。(規格材情報による運用)	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	近年、安定した品質の木材入手が困難な状況にあるなか、新たな木材産地との流通システムづくりを検討している。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	設計着手時点で、中国・四国・九州の各ブロックが関係する木材産地情報を入手できるようにしている。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	木材は、原則として、本会の規格材リストに従って計画し、山側との情報の共有を計画の初期の段階から行う。土壁を耐力壁として使用する場合は、性能に影響する圧縮強度の適正を確認する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	長期優良住宅によるチェックリストを使用する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	会員が確認し、上棟時と竣工時には会員への見学会を開催する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	木材については、原則として、会の規格材リストによる分類に従う。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	無	内容	
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	瀬戸内気候型住宅フォーラム				
H30採択グループ番号	07	—	0644	—	0654

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	大工技術の存続にも関わる課題でもあり、規範に従った和室の計画を建て主に勧めている。
② 和瓦の活用	有	内容	景観的配慮が必要な場合、周辺との調和を図るよう瓦の採用を勧めている。
③ 襖・障子の活用	有	内容	機能性を説明し、その採用を勧めている。特に障子は、サッシと組み合わせることで省エネルギー性能の向上が実証されているため、積極的な採用を勧めている。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	竹小舞土壁による住宅の普及を行っている。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	瀬戸内の気候にあった開放的住宅モデルとなるよう、公私の境界デザインの工夫を検討している。また高齢者と地域の関係などを現代のデザインとして表現する手法を検討している。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	高齢者家族の在り方として、近居、隣居による程よい距離感を持った住まい方を研究し、将来にわたり資産として残る家づくりを進めている。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	街道筋や城下町などにおける町家、田園部における開放性など、地域性や場所に応じた住宅形式を理解したうえで、地域に調和したデザインとすることを心がけている。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	